

教育長に聞く

成人式の実行委員会方式立ち上げ当初から、深く関わってきた、渡辺教育長に実行委員会方式に移行した背景やその意義について伺いました。

▽4年前、実行委員会方式を採用された背景は？

渡辺教育長 当時から、全国的に新成人のマナーの問題が取りざたされていて、当市の成人式でもいつか問題になるのではと思っていました。

また、やはりこうした新成人の式典の運営方法も、今までのような行政主体の式典ではなく、市民自ら企画運営する式典のほうが、みなさんにも社会



渡辺俊幸 教育長

人としての自覚と親しみを持っていただけるのではないかとということからスタートしました。

▽苦労された点は？

渡辺教育長 そりゃ、担当者は大変でしたよ。なにしろ、(この実行委員会方式が)この地域では初めての試みであり、まず、実行委員会のメンバーが集まってくれるのが不安でしたね。

しかし、成人式について、新成人に協力を要請したところ、多くの人から実行委員を快く受けていただいた記憶があります。

▽成人式で、何か変わってきましたか？

渡辺教育長 以前は、式典が始まる時刻になっても、友だちと文化会館のロビー付近で、いつまでも話していた

り、式典中も私語が多かったように思っています。

しかし、今では実行委員が会場へも誘導しており、スムーズに運営されるようになったと思います。

▽実行委員会方式の成人式も、回を重ねるごとにいろいろ変化してきたのでしょうか。

渡辺教育長 実行委員会方式も、最初から今のようにプログラムのすべてを検討するようになったわけではなく、1年目は、確形式典後のアトラクションのみを担当したはずでした。2年目以降は、実行委員会のメンバーからいろんなアイデアが生まれて、2年後の自分へのメッセージを贈る「未来へのメール」や「20歳の決意」と題して新成人のメッセージ集が誕生しました。受付や司会も彼らが行うようになりました。

昨年は、特に実行委員会の中から、「大地讃頌」を歌いたいということを知り、驚きました。新成人が、見事に歌い上げたのには感動しました。この歌は、新成人が中学生のころ、合唱祭で歌った曲であり、心のどこかに力いっぱい歌った思い出の歌として残っていたのでしょうか。

今年の実行委員会は、「太鼓演奏」に挑戦するとか。昨年秋より、牧野太鼓

の皆さんに、ご指導いただき練習を積んできたそうです。わたしも楽しみです。このように、毎年実行委員会が自らの特徴を出そうとして本当に努力しています。

だから、一人でも多くの新成人に、成人式に参加していただきたいと思えます。きつと、心に残ると思います。

▽そのほか、今の成人式で感じられることはありますか？

渡辺教育長 成人式にできるだけ多くの市民の皆さんが参画し、参加されることを願っています。

たとえば、ボランティアの皆さんには、成人式の受付などをお手伝いいただいています。

また、実行委員の中には、成人式後に青年ボランティアとして青少年活動にも協力いただいている人もいます。こうした力がこれからも、まちの発展に、どこかで生きてくると思えます。

この成人式を、市民は新成人になつたことを心から祝し、新成人は成人としての自覚を新たに、積極的にまちづくりに携わっていく、そうした大きな節目にしたいですね。